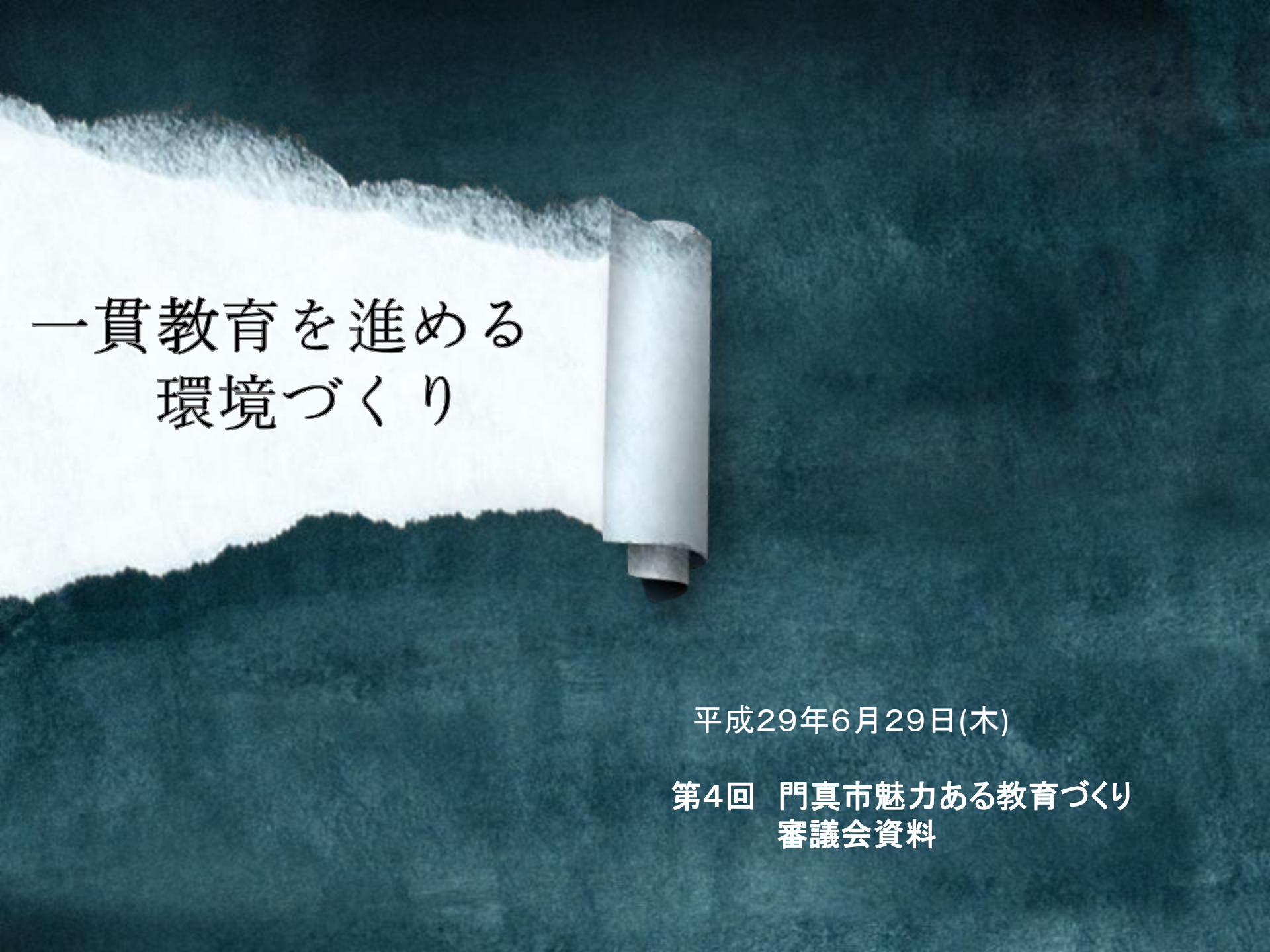




一貫教育を進める 環境づくり

平成29年6月29日(木)

第4回 門真市魅力ある教育づくり
審議会資料

小中一貫教育の推進

義務教育9年間を連続した教育課程としてとらえ、児童生徒・学校・地域の実情を踏まえた具体的な取組の質を高める

義務教育学校(施設一体型)

義務教育学校(施設分離型)

併設型小・中学校

連携型小・中学校

現行の小・中学校

小中一貫教育の成果

(小中一貫教育実施校へのアンケート)

- ・ 中学校への進学に不安を抱える児童が減少した
- ・ いわゆる「中1ギャップ」が緩和された
- ・ 学習規律・生活規律の定着が進んだ
- ・ 小中教職員間で協力しての指導にあたる意識の向上
- ・ 小中教職員がお互いの良さを取り入れる意識が向上
- ・ 教員の指導方法の改善意欲が高まった

小中一貫教育の課題

(小中一貫教育実施校へのアンケート)

- ・ 教職員の負担感・多忙感
- ・ 小中教職員間の打合せ時間の確保
- ・ 9年間の系統性に配慮した指導計画の作成・教材開発
- ・ 年間行事予定の調整・共通化
- ・ 教職員間での負担の不均衡
- ・ 成果や課題の分析・評価手法の確立
- ・ 小中合同行事における発達段階に応じた内容設定

効果的な一貫教育のために

★効果が認められる学校の特徴

- ・ 取り組み開始から一程度の年数が経過していること
- ・ 小学校に教科担任制を導入している
- ・ 小中学校教員の乗り入れ授業の実施
- ・ 一人の校長が小中学校を兼務する
- ・ 学年の区切りを変更(4－3－2など)
- ・ 9年一貫の教育目標やカリキュラムを設定する
- ・ 施設一体型になっている

守口市立さつき学園

4月25日 視察

平成28年4月開校 かつての守口市立第三中学校の敷地に施設一体型義務教育学校として新設

滝井小学校、春日小学校、第三中学校を統合して
つくられた

























門真市の子どもたちの教育に
あった一貫教育の形は・・・